

8月13日（日）の新聞

信濃毎日新聞

長野日報

報

(第三種郵便物認可)

二葉高110周年の調べ

受け継がれた楽器 同窓生演奏



▲国内外で活躍する同窓生らによるアンサンブルや独奏曲を堪能した諏訪二葉高の第10回ロビーコンサート

記念コンサート

諏訪二葉高校（諏訪市）で12日、創立110周年記念の第10回ロビーコンサートが開かれた。一世紀にわたり同校に受け継がれた明治期のピアノと、大正期の足踏みのリードオルガンを使用。同窓生の音楽家3人の独奏やピアノ三重奏などの聴きごたえあるクラシックの名曲で、節目の演奏会を飾った。（増沢伸）

出演は、オルガンは高橋ちえ子さん、ピアノは小口希代子さん、チェロは林詩乃さん、バスやブラームス、シヨパンなどの小品を演奏。ピアノ三重奏は小口さんと林さんに岡谷市出身のバイオリン奏者の齋藤英里子さんを加え、モーツァルトの作品をメインに4曲を披露。息の合ったアンサンブルが響いた。同窓生や住民ら約140人が、時代を経てみずみずしい鍵盤の音色や作ひやかな弦の響きを堪能した。

今年、当時ピアノを購入した初代校長の岩井今朝吉さんの100回忌にあたり、岩井校長にささげる演奏会と位置付けた。開会で同窓会の竹花

諏訪二葉高郷愁誘う音色

明治・大正の楽器 記念コンサート

諏訪二葉高校（諏訪市）の同窓会がPTAは12日、学校に残る明治時代のピアノと大正時代のリードオルガンを演奏する第10回ロビーコンサートを同校で開いた。前身の上諏訪町立諏訪高等女学校が1908（明治41）年に開校してから110年目の記念。岡



明治時代のピアノ全長を交えた三重奏を披露するプロ奏者たち

谷市出身で米国在住のチェロ奏者林詩乃さんからOG3人と同市出身のバイオリン奏者齋藤英里子さん、同校音楽部員が出演し、住民約120人が聞き入った。

10回目の節目とあって、林さんも駆け付けた。コンサートでは、諏訪市の音楽家高橋ちえさんがオルガンを弾き、郷愁を誘う音色で教会音楽を響かせた。ピアノは、岡谷市出身の奏者小口希代子さんが演奏。林さんと齋藤さんとの三重奏でエルガ「愛のあいさつ」など5曲を披露し、拍手を浴びた。

音大卒業後、初めて母校で演奏した林さんは「多くの知人が聴く中で緊張した。明治のピアノは現代の楽器と比べても違和感がなく、味のある音が響いていた」と話した。同窓会などは開校110年の記念で、旧校舎に使われたケヤキ板でピアノの由来を記した説明板を作った。

と「とあいさつした。110周年記念事業として作成した、旧校舎本館の階段の手すりを使ったピアノの由来書きの披露もあった。

諏訪市 ニュース

諏訪市の動き

市民新聞グループ
諏訪市民新聞
〒392-0115
諏訪市豊田文出1153-3
☎0266-52-3400
FAX 57-0117
www.shimin.co.jp
E-mail
suwa@shimin.co.jp

SINCE 1885
あなたの夢が
生きている
カネ・カネ
岡谷市中央町
TEL.23-5533

復元ピアノの音色美しく

一葉高でロビーコンサート

諏訪一葉高校、同窓会、PTAは12日、同校創立110周年記念、第10回ロビーコンサートを同校正面玄関ロビーで開いた。在校生、同窓生、地域住民ら135人が来場。同校出身の演奏家が奏する明治時代のピアノと大正時代のリードオル

が英断をもって500円で購入した。折しも同窓。このコンサートをささげると述べた。ピアノの伴奏に乗せて来場者全員で校歌を歌って開幕。音楽部生

徒の合唱で始まり、高橋ちえ子さん(44回生、諏訪市在住)がオルガン独奏と独唱を披露した。小口希代子さん(41回生、名古屋在住)が解説を交えてピアノを奏でた。

メインプログラムは、チェロ奏者の林詩乃さん(44回生、アメリカテキサス州在住)の出演で実現した、明治のピアノとチェロ、バイオリンによるピアノ3重奏。エルガーの「愛の挨拶(あいさつ)」などの4曲を披露し、アンコールでは同校から見える山の眺めにちなんで「もみじ」を演奏した。来場者たちは目をつむり、美しいハーモニーに身を委ねていた。

110周年記念事業で作成した「ピアノの由来書」もお披露目。旧校舎本館の階段手すりに使われていたケヤキの正目を使用した。社寺建築小平の小平牧勇さん(茅野市)が作り、由来の文章を同校で書道指導をしていた小宮山忠治さんが揮毫(きごう)した。



明治のピアノ(画面中央)とのトリオを味わった